

【建設水道部】 一般会計予算歳出

町有建物等解体事業

- 佐久間委員 5番、佐久間ふみ子でございます。主要施策19番、町有建物等解体事業について質問いたします。旧商工会館、旧共同福祉センターのほか、住宅2棟の解体実施計画が令和6年度から始まります。令和8年度には解体工事のスケジュールとなっています。築45年、その建物は経過していて、雨漏りやひび割れなど建物として使える状態を超えていると聞いています。現在、シルバー人材センターが使用しているところは、町の中心的な位置であり、今回の実施計画は、次につなげる利活用の計画があつての事業なんでしょうか、お尋ねします。
- 管財係長 管財係長の工藤です。ただいまの佐久間委員の御質問にお答えいたします。まず、解体の関係のスケジュールでございますが、旧商工会館、旧共同福祉センターにつきましては、令和6年度に解体の実施設計を行いまして、令和8年度に解体工事を行う計画でございます。中標津町シルバー人材センターにつきましては、この間の令和7年度中に移転いただくこととお話をしておりまして、御理解いただいているところでございます。建物解体後の跡地利用につきましては、現時点では民間への売払いを想定しているところでございます。なお、建物が解体され更地となるまでの間に、具体的な売払い方法など、方針の詳細について整理させていただきたいと考えております。以上です。
- 佐久間委員 5番、佐久間ふみ子でございます。再質問いたします。次の利活用は民間への売払いを予定しているということでございますが、町の基本目標4の住みやすいまちづくりの(1)の計画的な土地利用の推進に掲げていますように、先ほども言いましたけれども、その場所っていうのは大変土地価がよくて、利便性をそこを最大に生かした土地の、町としてですね、その利用促進っていうことに取り組むということは考えられないでしょうか。
- 管財係長 管財係長の工藤です。ただいまの佐久間委員の再質問にお答えいたします。委員御指摘のとおり、こちらの土地につきましては、中標津町内の中心市街地に位置しておりまして、また、用途地域としましても商業地域に位置しており、比較的このエリアでは大きな土地と認識しております。なので、こちら今まで行ってきました一般競争入札という形ではなく、例えば特定の用途に制限をかけて入札に付するなど、様々な方法を考えていける土地と考えてございます。そういった様々な売払い方法の手法につきまして、解体され更地となるまでの間に検討を行いまして、方針の方を整理させていただきたいと考えております。以上です。

【建設水道部】 水道事業会計予算

配水管整備事業

- 佐藤委員 15番佐藤です。248番、配水管整備事業。水道事業会計のですね、26ページに水道施設等耐震化事業費というのがあります。この関係についてお尋ねします。過日新聞記事で水道管の耐震化についての記事が載っておりました。全道的に耐震化ゼロの町もありますが、今回の954万6000円ですか。この事業終わった時点での中標津町の耐震化率を教えてください。それとこの耐震化の関係で前年度より1700万ぐらい減額しているんですけど、その理由についてもお尋ねします。以上です。

○**上下水道主査** 上下水道主査の水戸部です。ただいまの佐藤委員の質問に対して答弁させていただきます。こちら令和6年度から計画しております重要給水施設配水管更新事業ですが、令和6年度から令和22年度までの計画を予定しております。こちら18年間の中で管路8キロメートル分、耐震化率に直しますと約4%ほどの管路を耐震化する予定でございます。事業費につきましては、令和6年度は実施設計から入りまして、令和7年度に本工事が始まりますので、御理解いただきますよう、よろしく願いいたします。以上です。

○**佐藤委員** 減額の理由を知りたい。

○**上下水道主査** 上下水道主査の水戸部です。失礼しました。質問に対して再度答弁させていただきます。管路の更新費についてですが、こちら毎年ですね、更新しなければならない管路の優先順位を柔軟に入替えて工事を施工しております。基本的には老朽化が進んでいる管を優先的に更新するものなのですが、前年に漏水があったりですとか、その他いろいろな事情で工事の順番入替えておりまして、年度によって管路の更新費用にばらつきが発生しております。ただいま上下水道係としてはですね、毎年2億円の事業を超えないように管路の更新を行っております。以上です。

配水管整備事業

○**佐野委員** 12番、佐野弥奈美です。同じく248番、主要施策の248番、水道事業会計資本的支出、配水管整備事業費についてお尋ねいたします。今回替える配水管改修は、従来の管と同じものを使用するのか、それとも耐震化用の管を利用するのかをお聞かせください。まず、それをお聞かせいただきたいと思います。

○**上下水道主査** 上下水道主査の水戸部です。ただいまの佐野委員の質問について答弁させていただきます。現行の中標津町水道ビジョンにおきまして、管路更新時には口径75ミリ以上は耐震管、口径50ミリ以下は柔軟性が高く、地震に追従できる管に入れ替えるという方針を定めております。令和6年度の工事においても、この方針に沿って工事を行ってまいります。以上です。

○**佐野委員** はい。最近大型地震が続いているので、いろんなそれこそ管にあればあります。ダクタイル鉄管ですとかスチール管、ポリエチレン管とかいろいろありますけれども、どれを利用するか教えていただいてもよろしいですか。

○**上下水道主査** 上下水道主査の水戸部です。ただいまの佐野委員の再質問について答弁させていただきます。当町の方針を申し上げますと、管路50ミリ以下は2層ポリエチレン管、口径75ミリから150ミリは排水用ポリエチレン管、口径200ミリ以上はダクタイル铸铁管で更新いたします。以上です。

○**佐藤委員** はい。大きい方はダクタイルの鉄管ということで、これは接続部やなんかは、地震の時にも外れたりなんかしにくいというタイプなのでそこは安心だと思いますが、ポリエチレン管を利用する場合、接続部っていうのもやっぱり同じように外れにくいものっていう形になっているんでしょうか。

○**上下水道主査** 上下水道主査の水戸部です。ただいまの佐野委員の質問について答弁させていただきます。他の管種についても同様にですね、従来の管は今まで継ぎ手部分が弱かったものですから、継ぎ手部分はより頑丈になっております。それはどの種類の管でも同じような方針でメーカーが設定しているものですので、はい。安心していただければと思います。

【建設水道部】 下水道事業会計予算

下水道中期ビジョン策定委託料

- 高橋委員 9番、高橋善貞です。主要施策のナンバーでいきますと250番です。下水道事業会計の収益的支出の下水道中期ビジョン策定委託料について質問させていただきます。昨年のストックマネジメントに引き続いて、経営戦略について作っていくんだという話でしたが、根室北部衛生組合で現在検討中の広域化共同処理方式、ミックス事業とか言ってたんですが、の方向性によってはですね、この計画が昨年のストックマネジメントも、これから作る経営戦略についても、この計画全てが再構築しなければならないんじゃないかなというふうに思うんですが、その辺は大丈夫でしょうか。
- 上下水道係長 上下水道係長の仁木です。ただいまの高橋委員の御質問にお答えさせていただきます。まず、令和5年度実施のストックマネジメント計画策定の中で、今の処理場の規模でし尿を投入しても問題ないことを確認してございます。今後のビジョンの中につきましても、この辺も併せて検討して、新たに内容を策定していきたいと考えております。
- 高橋委員 分かりました。ただですね、この広域化共同処理方式を決めるのは、町民生活部が今進めているんです。そして、議会の方も厚生常任委員会がこの共同処理について今検討しているんです。ところがこの下水道のストックマネジメントと、これからの経営戦略を決めていくその所管は産業建設常任委員会であって建設水道部なんです。ですから、2つの部局をまたいで2つの委員会と一緒に考えていかなければ、この下水道のこれから先のビジョンは、共同処理についても決まっていけないんです。ですからこの辺を町の中でもきっちり建設水道部と町民生活部と、それなりの協議をしながら、現在進めていると思うんですけど、その辺のお互いの情報交換というのはどういう方法でやっているのかちょっと教えてください。
- 上下水道課長 上下水道課長の本間です。今、生活課の方の所管の衛生組合関連、そして下水道処理場の関係の上下水道課ということで、衛生組合の関係で今回基本計画ができ上がったわけなんですけれども、その計画の中身についても、我々上下水道課の方におりてきておりまして、今後、住民説明会等を行って、令和7年度に下水道の認可の方の変更を予定しており、8年度から測量から基本設計からという下水道部門の方の動きになってきます。今の段階では、基本計画っていうところで生活課の方と書類の交換ですけれども、そういった情報交換等は行っております。

以下は質疑なし

- ・一般会計予算歳出以外
- ・簡易水道事業会計予算の質疑